

非公開化を伴うMBOにおける投資家へのリターン

伊藤 晴祥
エリック・メイズ

目 次

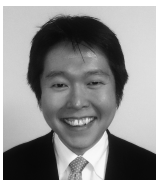
- | | |
|--------------------------|--------------------|
| 1. はじめに | 4. MBO前後の投資家へのリターン |
| 2. 分析対象の記述 | 5. 終わりに |
| 3. バイアウトプレミアムと取引時の資金調達手段 | |

非公開化を伴うマネジメントバイアウト（MBO）は、MBO前の株主及びMBO後の全投資家に、顕著なリターンをもたらしている。2001年から09年までに行われた54社の上場企業によるMBOのデータから、平均で49%の買収プレミアムが支払われており、20社のMBO後の財務情報がある企業における、MBO前の株主及びMBO後の全投資家への名目リターンは116.3%であり、MBO後の全投資家への名目リターンは、54.6%であることが分かった。このような高いリターンの源泉について考察することは重要な研究テーマである。

1. はじめに

MBOは、西洋諸国では1970年代から行われて

いたが、日本の上場企業によるMBOは比較的新しい事象である。本稿ではMBOは、上場企業の経営者陣が自社の株式を買い取り、非公開化を行



伊藤 晴祥（いとう はるよし）

国際大学大学院国際経営学研究科准教授／イトックス㈱代表取締役。2004年青山学院大学国際政治経済学部卒業。慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修士及び博士（政策・メディア）、ハワイ大学修士（金融工学）及び博士（国際経営学）取得。13年4月、国際大学大学院国際経営学研究科講師。15年9月より現職。主な著作に『Managing Weather Risks: The Case of J. League Soccer Teams in Japan』（Journal of Risk and Insurance、15年）、『金融・契約技術・エージェンシーと経営戦略』（東洋経済新報社、06年）がある。



Mais, Eric L. (エリック・メイズ)

ハワイ大学マノア校シャイドラー・カレッジ・オブ・ビジネス教授、エグゼクティブMBAプログラムディレクター。ミズーリ州立大学化学学士。卒業後、ミズーリ州立大学MBA及びサウスカロライナ大学博士（ファイナンス）取得。主な著作に『Managerial Voting Rights and Seasoned Public Equity Offers』（Journal of Financial and Quantitative Analysis、94年）、『The Valuation Effects of Private Placements of Convertible Debt Securities』（Journal of Finance、91年）がある。